

主体的な学びにつながる「技術科の学習が好きになる授業」をめざして

東濃教育事務所

子供の『楽しいPoint』

めざすはここ！



「自分の手」で「仲間と共に」
生活を工夫し創造できた！を実感する

- ★「自分の手で」できた！課題を解決できた！
- ★製作・育成・実験・交流等で新たな気付きがあった！
- ★身に付けた力を活かし、最適な解決策で、家族や地域、周りの人に喜んでもらうことができた！

そのために『3つのPoint』

- ①導入：生活、社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、技術の見方・考え方に気付かせる。
 - ・生活や社会、既習事項、体験等から技術に関する問題を見いだすことから始める。（必要に応じて調査・実験・観察等を行う）
- ②追究：課題の解決策を使用目的や使用条件を踏まえ、技術の見方・考え方を働かせ最適な解決策を考えさせる。
 - ・「1人で」じっくり作業する、試行錯誤の時間の確保。
 - ・「みんなで」対話し、協働的に解決する場の確保。
- ③終末：課題解決できた達成感・実践の喜びを味わい自己の変容が実感できるよう、学習過程を振り返る。
 - ・視点をもって振り返る。＜評価規準3観点＞

④学習環境と学び方

まずはここ！

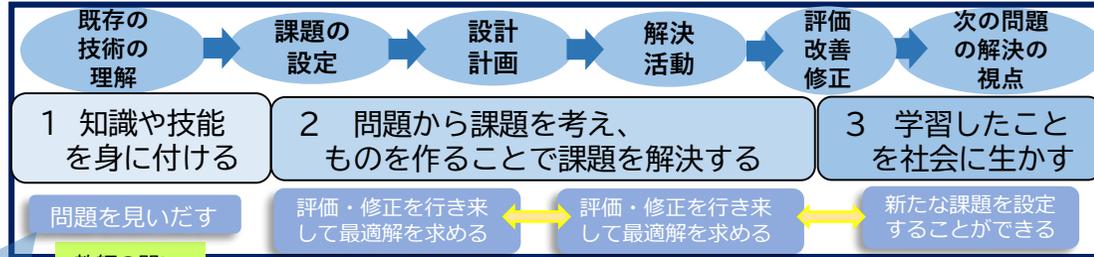


- ・事故防止の徹底（活動に適した服装、用具や工具の扱い、安全な作業環境、準備や片付け、整理・整頓、農薬、情報セキュリティ等）
- ・子供と共に「目指す授業」を考え、学習姿勢、準備・片付け、用具の扱い等のルールづくりを行い、指導し続ける。
- ・五感を駆使した学び方を大切にする。

《教材構成》

課題解決に向けて取り組む一連の学習過程

例) 材料と加工の技術 収納ラックの製作を行う際の
教材構成の仕方



教師の問い

日常生活で困っていることはないかな？
材料と加工の技術によって解決できないかな？

×収納ラックの作り方のみ解決活動(製作)で教える。
○生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見だし、最適な解決策を構想し、製作図などの表現を具体化しながら検討し、問題を解決する力が身に付くようにする。

《授業例》

一連の学習過程 設計・計画 の場合

- ①既製品の2つの椅子を観察・比較し、技術の見方・考え方に気付かせる。
＜製品A ダイニングチェア＞ ←→ ＜製品B スツール＞
★機能性 ★耐久性 ★安全性 ★環境への負荷 ★デザイン性 ★経済性
・使用目的や使用条件を踏まえて、さらにより製作品にしたい。

見方・考え方に
気付く

課題 自分の生活に役立つ製作品にするにはどのような設計にするとよいだろうか。

- ②製作品に入れる本や小物などを実際に入れて自分の収納ラックについて改善や修正する点を自分の生活の使用目的や使用条件から考える。★個別最適な学び
・背板の位置が低いと重い本を入れるとすぐに壊れてしまう。もう少し高い位置にしよう★耐久性
・取り出しやすく整理しやすいように、仕切りの幅を変えてみよう。★機能性

仲間はどんな視点で構想したのを知りたい

★協働的な学び

見方・考え方を
働かせる

③学習内容の確実な定着+異なる考え方が組み合わせりよりよい学びを生み出す

「製品が自分の生活の目的に合って、さらによりものになった！」
弟のおもちゃや本を片付けるときに便利な収納ラックを考えた。〇〇さんの考えを聞いたら、安全性を考えて、角を丸くしたり、できるだけ材料費を少なくして作る方法を考えていた。私は弟が使いやすいように、機能性を考えて設計していたけれど、仲間と交流したら、弟が使わなくなった後に他の用途にも使えるようにするといいことがわかった。安全で、長く使える耐久性の高い収納ラックになりそうで嬉しい。次の試作で構想が実現できそうか確認したい。

主体的・対話的で深い学びの姿

見方・考え方を
広げ深める